

筑波大学教育学親交会 2025年
第1回 オンラインフォーラム

教員養成・研修における 理論と実践の往還

日時 **11.26** 水
18:00～20:00

場所 オンライン (zoom) 開催

入場無料



登壇者 **高野 貴大 氏**
(茨城大学)

登壇者コメント

教員養成・研修における「理論と実践の往還」とは何か、教育学との関係から参加者の皆さんと一緒に考えます。

登壇者は、「理論と実践の往還」をめぐって、筑波大学の院生の頃より研究として考えてきました。特に教員養成・研修において用いられる「省察」をキーワードに研究を進めてきました。その研究成果の一端をご報告することに加えて、現在、教職大学院で実務を担いながら考えていることを報告します。それらの報告を基に、参加者の皆さんが考える教員養成・研修における「理論」や、筑波大学で学んだ教育学の「理論」とは何か、それが「実践」にどうつながっているのか／つながっていないのか等を議論できればと思います。

【登壇者紹介】

2021年に筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科教育基礎学専攻を修了。独立行政法人教職員支援機構 研修特別研究員として勤務したのち、茨城大学学術研究院教育学野 助教を経て、現在、講師。博士（教育学）。

主な著書に『現代アメリカ教員養成改革における社会正義と省察：教員レジデンシープログラムの展開に学ぶ』（学文社、2023年）があり、同書は2025年度日本教育行政学会賞を受賞。主な論文に「現代の教職理論における「省察（reflection）」概念の批判的考察：サイクナーとリストンによる「省察的教育実践」論を手がかりに」（日本教師教育学会年報、2018年）などがある。

[お問合せ]

筑波大学教育学親交会

tsukuba.edu.alumni@gmail.com

事前参加登録フォームはこちら

<https://forms.gle/vbZrTsW83PYyJZa17>

